

委員からのご意見等について

①【具体的施策の取り組みと役割について（案）No. 34～No. 70】について

取り組みNO.	ご意見
32	学校園・保育所（園）等との連帯強化 食品ロス等だけではなく、体操服・制服・ピアニカや書道道具などまだまだ使えるものをリサイクルする方法をPTAと連携してできないか。
32	放課後小学校育成クラブに使わなくなった、おもちゃや漫画本などを寄付できないか。
34	※燃やすすかしいごみ 埋め立てるしかないごみの分別 広報等で知らしめる ※マイボトルの奨励 あるメーカーのボトルを買えば自動販売機で格安で飲料が手に入る。 ※プラスチックごみ ものづくりや設計の段階で、今よりもっと環境保全の要素を取り入れる必要があると思います。
34	再生資源の集団回収制度をもっとPRすべきであり、再度排出方法を啓発すべきである。
34～37 共通	広報誌やRあ～るかわにし等で「啓発」として分類を強化、重点にされていますが、関心がない方々に対しての取り組みを挙げてこそ「強化」「重点」として位置づけできると思います。 例えば、「市保有、並びに主要商業施設のデジタルサイネージを駆使する等で露出度を増やし、認知度を高める」といったような、オフェンス的取り組みがあった方がいいと思います。
37	No. 61に挙げている内容と異なるのでしたら、取り組み等欄に記載の「減量化計画書の内容審査・助言・指導」が要らないと思います。 No. 37が「事業所も正しく分別して排出する」ということに主眼を置いているのでしたら、具体的施策欄には「事業系ごみの排出者としての責任感の醸成と向上」とするのはどうでしょうか。
39	具体的施策の「事業所の取り組み」という文言が「店頭回収の促進」と並列で書かれているため、店頭回収の促進に関する取り組みを指しているか、リサイクル全般の取り組みを指しているか、分かりやすい表現に変えるのが良いと思います。
39	店頭回収の促進・事業所の取り組みに関する情報提供について ・店頭資源回収している販売店などの広報誌などでの告知、および資源回収物のルールについて啓発をしていただければ助かります。資源物に一部のゴミが混ざる事で回収した資源物全体がゴミになる事が発生しています。 ・川西市では、家庭用ゴミのボタン型水銀電池、充電式電池は現在販売店などに置かれている回収箱へ返却するルールになっていますが、インターネットでの購入も増えている為、小型家電の様に公共施設に回収箱を設置する事で、一般ゴミ回収時の異物混入による事故や不法投棄が防止されると思います。
39	食品トレイ、紙パック等、販売する側で回収しなくて済む方法を推進すべきである。量り売り、空き瓶での計量売り。
42	リネットジャパンを各家庭にもっとPRすべきである。
45	※剪定枝の資源化 川西市が所有している植木の剪定枝の裁断は、機械があまり大きくないと思います。剪定した物はすぐに堆肥として使用はできません、又くすの木のように天然の樟脳として使用されている物は堆肥として適していません。裁断した物は、数年間寝かして堆肥化として使用すれば素晴らしい有機肥料になります。
取り組みNO.	ご意見

47、48	基本施策（1）の安心とは、誰の安心感でしょうか。 現在の川西市の家庭ゴミ収集は市民のボランティアが不可欠であり、決して安心ではないように感じます。 また、この項目は安全面についての記述のみで安心な収集について記述がありません。安心は削除しても良いのでは。
48	正しい分別方法の啓発では強化にはならないと思います。 既に実施されているようでしたら申し訳ない意見となりますが、安全性が確保できないようなごみが明らかに混在している場合、メモを貼り収集はしないというような強い意思表示が必要ではと思います。
51	近隣の自治体と歩調をあわせ、ごみ有料化に向けて早急に協議すべきだ。
54	環境に配慮した製品を製造者責任で推進すべきだ。
54	<p>※毎日使う日用品や衣類は、長く使える物を選び、使い捨てる物は買わない運動の奨励</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルで生み出した資源で作った品を使うなど3Rを意識して、ごみ減量の生活をする。リユース、リサイクルは、お金と時間がかかる。2013（平成25年）バングラディッシュの縫製工場で崩落事故があり1,000人の犠牲者が出た。これを機に日本のアパレルメーカーは大量生産、大量消費から循環型にシフト変更した。愛着のある衣服を買った店に持ち込めば、染め直し、穴あきの補修等をしてくれる。 ・京都のあるブランドメーカーは、販売した物を持ち込めば定価の2割りで買ってくれ、再度染色し、修理し格安で販売している。 ・少ない人数で対応されている役所の皆さんはしんどい思いをされていると察しますが、行政と民間がタイアップして、リサイクル、リユース品の販売することはできないだろうか。 <p>あるいは、買ったものの、使用せずにしまっている衣服を期限をもうけてレンタルはできないだろうか。 廃棄する衣料の削減。</p> <p>※未就学児・小学生・中学生の靴のリユース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの足はすぐに大きくなります。価格も決して安くありません。使用可能な靴を寄附してもらい、洗浄、消毒して格安で販売あるいはレンタルはできないか、子供の好みの靴が安く手に入り家計の助にもなる。 <p>廃棄する靴の削減。</p>
57	最近、自治会で出前講座が開かれましたが（日曜日）人数が少なく普段の日であれば主婦層が多い。市と自治会等が手を組めば、分別が進むと思います。
61	事業所から排出される廃棄物の減量化を見える化するよう指導が必要。
67	有料化になれば、物を増やさない、買いすぎないようにと思うので、排出量が減ると思います。
67	いつまで検討と言っているのかなと思いました。 市だけでなく市民も対象にして意見を取ってみてはどうでしょうか。 いつかは有料化するのが現実的ならば、早いうちから情報提供した方が導入時に抵抗感も少なくなるような気がします。
67	重点5になっている割には具体的施策では、「検討」となっているので、重点感があまり感じられないように思います。ごみの有料化を既に実施している自治体もあることを踏まえると、次期8年間で、有料化を具現化すべきではと思います。 有料化にしたい思いが強いのであれば、思い切って「ごみの有料化の具現化」とすればいいのではと思います。
70	最終埋立地が大阪湾だと知らない市民が多いと思うので、現状の情報提供が（出前講座、広報誌等）あれば削減への意識向上にもなると思います。